

あ
い
なん

議会

だより



創刊号

2025.3

住民に開かれた議会を目指して



「あいなん議会だより」創刊号によせて
議会報告・意見交換会
一般質問、表決が分かれた議案
お知らせ、編集後記

p2-3
p4-5
p6-7
p8



町ホームページでも
ご覧いただけます



二次元コード
を読み取って
ご覧ください。

あいなん議会だより

— 創刊号によせて —

議長 佐々木史仁



町民の皆さま、こんにちは。

このたび、「あいなん議会だより」を創刊いたしました。これを機に、町民の皆さまに議会の活動や取り組みをより身近に感じてもらえるよう、全力で取り組んでまいります。

この議会だよりが、皆さまとの絆を深め、愛南町の未来を共に築く一助となることを心から願っております。ご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

吉村 直城



住民と共に歩む議会。その一歩として議会活動の一端を知っていただき、併せて議会監視もお願いしたい。

那須 芳人



町民の皆さんに議会への関心を持っていただき、議会の役割を身近に感じてもらえる一助になればと思います。

議会だよりを発行する議会広報特別委員会
が
始まり
ました

議会だよりを発行する議会広報特別委員会を設置されました（令和6年12月議会）。これは、議会活性化の一環として「議会だより発行準備特別委員会」で検討してきたもので、「住民に開かれた住民と歩む議会」となるために住民との関係づくり、情報の共有、そして住民参加・参画を実現していくのが目的です。

発行は原則、年4回（6月、9月、12月、3月）の予定で、委員は6名です。内容は、読みやすく、分かりやすい、町民参加の紙面づくりを目指し、「現在・未来」のことについて編集会議で企画し掲載することとしています。ご期待ください。

議会広報特別委員会

議会だより発行準備特別委員会の報告書（全文）は、町ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。



町ホームページ

報告書も見てね



やました
山下

まさとし
正敏



議会改革は議員の
議会活動の一丁目一
番地。しかしその前
に大切なことは、議
員の意識改革を先に
すること！

なかの
中野

みつひろ
光博



議員活動も長くな
りましたが、初心を
忘れず、誠意ある行
動を心がけたいと思
います。

はらだ
原田

たつや
達也



議会の機能、役割、
活動等を分かりやす
く町民の皆さまに伝
えることができるよ
うな広報になればと
思います。

たかの
鷹野

まさし
正志



「議会だより」が町
民の皆さんにとつ
て、親しみのある分
かりやすい開かれた
議会の一助になれば
幸いです。

かなしげ
金繁

のりこ
典子



町民の皆さんに参
加してもらえる機会
の一つとなり、一人
一人が暮らしやすい
まちづくりへつなげ
たいと思います。

わかばやし
少林

のりこ
法子



「そつだったのかー」
町政と議会の動き、
町民の声を分かりや
すくお伝えしていき
ます。ぜひご愛読く
ださい。

よしだ
吉田

しげお
茂生



「議会だより」を通
じて、町民と議会の
架け橋となり、透明
性と信頼感を高めて
いきたいと思いま
す。

いけだ
池田

えいじ
栄次



身近に感じてもら
える議会を目指す
とともに、「小さな声」
に対応できる議員で
あるよう研さんを積
んでまいります。

かぎやま
嘉喜山

しげる
茂



議会だよりを通じ
積極的に情報提供に
努め、町民の声を
お聴きし、開かれた議
会の構築に努めてま
います。

おぎさ
尾崎

けいち
恵一



「あいなん議会だよ
り」創刊、町民の皆
さまとの絆を深める
情報発信を目指しま
す。



意見発表を行う参加者

子育て世代の皆さんと 意見交換をしました！

参加
団体

愛南町PTA連合会、保育所保護者会
あいなん幼稚園PTA、こぶたたんぽぽポケットとんぼ
愛南町母子寡婦福祉会若年母子支部

子育て支援の充実を図るため、11月20日、役場本庁にて、保護者や支援団体から計24名をお招きし、議員を交えて4つのグループに分かれ、意見交換をしました。その結果、次のような意見が出ました。頂いた意見の一部については、複数の議員が12月議会の一般質問で取り上げ、町からの回答を得ました。その他の意見についても、議員全員で協議し、議会からの回答として参加団体の皆さまにお伝えしました。

また、子育て支援を充実させるためには、国からの支援も必要なことから、12月議会で「子育て支援の充実強化を求める意見書」を採択し、国に提出しました。



▲託児も行いました

喜びの声

モンベルのランドセル
は大変ありがたい。



インフルエンザの予防接種や、
給食費の補助、非常に助かる。



こうしてほしい意見

01 子育て支援の充実を



町からの回答

来年度の中学校新入生から通学用かばん等の補助を実施します。制服代の購入には就学応援金を活用してください。



- 第3子以降の出産子育て支援金の増額を望む。
- 給食費無償化の継続をお願いしたい。
- 中・高の制服は10万円以上。制服やかばんの補助はできないか。
- 校区外へのバス通学の小中高生へ、経費補助またはスクールバスの利用はできないか。
- 県外学生の帰省費用の助成を望む。
- 紙媒体で申請しないともらえない支援が多い。全てオンラインで、時期時期に申請のお知らせが来て手続きができる仕組みをぜひ町として作ってほしい。

02 子どもの居場所を

町からの回答

子どもや保護者の意見を聞きながら、児童館や放課後児童クラブに限らず、多様な居場所づくりと支援員の確保を強力に進めます。



- 夏休みの子ども塾が夢創だけ遠いので、近くにほしい。
- 共働きなので、土・日・祝日とか長期休暇の時の支援があると助かる。
- 今は曜日が指定なので、できれば毎日の利用ができないか。
- 課題は、支援員がいないという現実。地域の協力で確保が必要だ。



03 子どもの遊び場所を

町からの回答

遊具は年1回の保守点検業務をしています。安全第一に、適切な修繕や更新を行い、なるべく早く利用再開したいと考えています。



- 子どもが自由に遊べる小さな公園が各地区にほしい。
- 特に城辺地区で整備がされている公園が少ない。
- 使用禁止の遊具が多い公園もある。遊具の補修を望む。
- 年齢に応じた施設の充実を望む。



04 小児医療の充実を

町からの回答

子どもの相談窓口の件は、今後医療機関等とも相談しながら、協議していきます。



▶ 意見交換を行う参加者



- 産婦人科がない所でどうやって子どもを産めるんだろうか。
- 緊急外来で小児科の受診を断られたり、相談窓口は電話が繋がらないことも。
- 小児科医や産婦人科医の夜間とか緊急外来のローテーション等、医師の確保を願いたい。
- 小児科医や産婦人科医の不足は、議員から町、県へと要望してほしい。



参加者の感想

- 他の人の意見が聴け、自分も思ったことがしっかり言えて楽しかった。有意義な時間だった。
- 議員に直接訴えることができ、また熱心に話を聞いてくれたので、議員が身近になった。
- 議員は、積極的に現場の声を町や県に伝えてほしい。
- こういう機会を今後も続けてほしい。一つでも意見が反映されるなら、また来たい。



「議会報告・意見交換会」の詳細はこちらから



12月議

「そこが聞きたい」 7名の議員が一般質問

各議員が、町長の公約から選挙、防災、観光関係等の町政の広い範囲にわたって一般質問を行った。



Oizumi Kenichi



尾崎 恵一

問 愛南町の人口減少問題について、将来人口推計と町の目標人口の差異を指摘し、若者定住促進のための施策の成果と課題を問う

答 人口減少抑制の重要性を認識し、子育て支援や移住促進、第一次産業の後継者育成などの具体的な施策の成果を評価しつつ、Uターン奨学金の拡充や給食費無償化の継続など、新たな取り組みにも言及した。町の持続可能な発展を目指して今後も努力する姿勢を示した。



Kanashige Noriko



金繁 典子

問 町長の公約実現に当たり、町民、および議会と対話を

答 私自身（町長）も対話は本来に大切だという認識は持っている。

問 小山太陽光発電事業事件の再発防止策は？

答 処分の規定が不十分な点は、十分に検討した上で今後対応していく。

問 非正規職員（会計年度任用職員）の処遇を改善すべきでは？

答 非正規職員の方々にはあえて「非正規でよい」との判断をいただいて応募をいただき、採用に至っているのが現状。まず現場の意見を聞くことから始めていく。



Yoshida Shigeo



吉田 茂生

問 少子化対策について、放課後児童クラブの年齢延長、放課後子ども教室の整備、長期休業中の子どもの居場所づくり対策等について問う

答 入会希望の状況を確認し年齢延長を進める。放課後子ども教室の整備については、場所や支導員の確保等の課題等解決し居場所づくりを進めていく。児童館や放課後児童クラブに限らず、多様な居場所づくりに努める。

問 防災士の組織化について問う

答 意見交換や情報共有による防災士相互の連携強化を図り、地域防災の向上につなげる。



Ikeda Eiichi



池田 栄次

問 選挙における投票支援カード、コミュニケーションボードの導入について問う

答 障がいのある方に対する投票所での対応例を参考に、関係団体等への周知に努めながら次回選挙時から各投票所に導入活用する。

問 甚大な地震災害と豪雨災害等の複合災害対応について問う

答 複合化する災害に適切に対応できるよう、道路改良・維持工事等による災害に強いまちづくり、復旧復興体制の構築維持に努める。

問 持続可能なまちづくり方針について(所得向上など成長戦略、IT・AIなど、脱炭素など環境施策)



嘉喜山 茂

※この他、精神障がい者医療助成の拡充、中高制服代の助成、農業振興への取り組み、防災士連絡協議会の設立、住民参画型の町政について質問した。

答 来年度から、対象の拡大を計画している。
 問 現行のひとり親家庭医療費助成制度では、子どもが大学および高等専門学校生の場合は適用されるが、同程度の学費が必要な専修学校や各種学校(専門学校など)は対象外である。不公平であるので、支援拡充を求める。



少林 法子

問 人口減少に伴う就労の場・労働力不足対策について問う

答 労働力不足を解消するため、外国人雇用対策の支援にも取り組む。

問 原因究明、再発防止策を講じていると認識している。町ホームページで、謝罪・経緯・再発防止策・和解内容を掲載し、町民の方々に報告しているが、今後、町広報紙にも同様の内容を掲載することとしている。

問 小山地区太陽光発電事業に係る不許可処分に関する原因究明、再発防止策、それに伴う処分、町民への報告について問う



吉村 直城

答 愛南町の十年先を見通し、地域経済の持続的な発展を支援する。次世代へつなぐ産業振興の促進や情報通信技術の導入など、地域の特性や住民のニーズに合ったまちづくりを進める。住民、事業者、行政の連携による、脱炭素社会の実現、持続可能なまちづくりを推進する。

表決が分かれた議案(請願の採択・不採択)

討論 議会の全ての会議の放送を求める請願



愛南町議会は住民に情報を積極的に発信し、情報共有をする「住民に開かれた議会」を目指して議会の活性化をしてきた。全ての会議の公開、議会だよりの発行、本会議の放送などを実行してきたが、さらに本会議以外の会議の放送を実現することで「住民に開かれた議会」が充実する。現議長選任時の所信表明にも示されていた。



討論 知事に伊方原発稼働同意の撤回を求める請願

電力会社は安定供給を義務化されており、電力は余っているわけではない。知事は国の安全基準が担保されたため稼働に同意している。将来的には反原発の方向に考えているが、今の時点では反対する。



現在、電力会社は自然エネルギーを余らせて出力制御しているが、日本は世界最大容量の送電技術を有しており、電力の安定供給は可能。昨年脱原発を完了したドイツでも日本の技術を使っており、知事の政治的意思決定で脱原発は可能。



町議会情報



愛南町議会の構成や議会議員の紹介、会議開催予定、過去の会議録など、各種情報を町ホームページ（議会ページ）でお知らせしています。

編集後記

「議会だより」創刊号、いかがでしたか？

そもそもなぜ「議会だより」なの？と思われる方もいらっしゃるかもしれません。町民の皆さんの代表である議会が何をしているのかをお知らせするとともに、皆さんの声を聴き、よりよいまちづくりに生かすための手段の一つが「議会だより」で、他の多くの議会でも発行されています。発行に向けてこれまで議会として専門家の研修を受けた

り、他の議会へ視察に行ったりして準備してきました。そして制作は議会全体の協力も得ながら編集委員6名が各ページを担当し、議会事務局の皆さんのご尽力により完成しました。

今後も皆さんと共に歩む議会に向けて、議会だよりをぜひ一緒に育ててくださいませようお願いします。

（金繁）

議会からのお詫び

議員が住民グループから議会に提出された「要望書」の賛同者宅を訪問し、署名の事実を確認するなどした行為により、表現の自由、請願権等の憲法上の重要な権利が侵害されたとした裁判で、町に対し、5万円および遅延損害金の支払いを命じる判決が確定しました。

住民グループの皆さまをはじめ、賛同者の皆さま、町民の皆さまにも、多大なご迷惑やご心配をおかけしましたこと、誠に申し訳なく心からお詫び申し上げます。

今回の件で、議会に対する不信感を抱かせたことについて、深く反省し、重ねてお詫び申し上げますとともに、議会として信頼回復に努めてまいります。

愛南町議会議長 佐々木史仁

皆さんの声を聴かせて！

皆さんのなぜ？あれはどうなったの？これをしてほしい etc…。小さな声を集めて、大きな声にするのが、私たち議会の仕事です。町民の皆さんからの「声」をお待ちしています。二次元コードからどうぞ！

皆さんの声はこちらまで▶



編集委員会メンバーのご紹介

やる気満々！

金繁典子
少林法子
吉田茂生
池田栄次
嘉喜山茂
尾崎恵一